

日本クリスチャン・アシュラム連盟

秋季号

開心  
静聴  
充満  
献身  
奉仕

# 日本アシュラム

United Christian Ashrams of Japan

Autumn 1977

▼連盟は創始者の祈りによって各地に生れたフアミリーの全国的な文交わりであって、常に新しい家族(単位)の参加を期待している。

## 主イエスの選び

マルコ福音書 3・13-15

副理事長 中路 嶋 雄

主イエスは「わたしについてきなさい」と招かれる。海辺のペテロ、取税人レビ、皆自然に従う他はなかった。多くの群集も亦従うのだった。輝かしい或る日、主は山に登られ、み心に叶った者達を呼び寄せられる。彼等は厳肅な光栄感に満され、心いたく喜びつつ、み側近く集った。何事かが起りそうである。

主の厳選が行われるのだった。その選びの目的を主は明白にされた。それは、三つあった。主イエスを唯一の導師とするアシュラムは、当然この三目的を命をかけるものとせねばならぬ。主の御選びの御旨に応答する現代に生きる信徒の本分であろう。十二使徒達だけのものではなく、信徒の第一義である。私は恒に、茲に帰り、茲から出発する。言難い喜び、力、慰め、愛、希望が湧く。

主が十二弟子を選ばれた第一目的は「彼等を御自分の側におくため」であられた。現代人はセンチメンタリズムと笑い、ナンセンスと嘲笑しよう。だが人間にとっては本質的なことである。母の胎にあればこそ胎児は育ち、母の懐に抱かれればこそ嬰兒は成長する。主イエスと信徒とはそれ以上緊密である。勿論、信徒だけでなく全人類がそうである。生物学的関係でしかないが、動植物もそうで

ある。主なしに地球も宇宙も存在しなかった。星の瞬き、月の淋しさもだ。自然科学的現象は主故に始まった。人間の責任と営みであるが社会学的現象もそうである。極めて人間は枉げてはきたが、形而上学的課題は人間の頭脳から湧き出たようだが、そのもとを質せば主在す故である。唯許された自由を人間は枉曲仕切り、罪に立ったが、で、主の許に常に離れずに居らねばならぬ。思考的人間も工作的人間もである。

勿体ないことは、主は私達を側近くおくためにお選び下さったことだ。借にます主が我等をアシュラムに迎えて下さる。錯覚としてはならない。汽車も飛行機も自動車もアシュラムに運びはせぬ。生ける主なのだ。信仰者はこの事がよく分る。一瞬と雖も私は主なしには生きられぬ。生きていたくない。絶望の世に望なき人間は主います故に感涙にむせびつつ、懸命の日が楽しい。死も生も一如となつて。しかも、み側にいる間に主は選びしものを化し給う。「み前にきよく傷のない者となるようにと、天地の造られる前から、キリストにあってわたしたちを選び給った父の神の真子なのである。

第二、第三は第一から当然にくる。第二の御目的は、主が私達を「宣教につか

発行人 大石 剛 郵  
定価 一部 50円 50円

山根可式書  
「アシュラムの恵」(百円)

わされる」事だった。主と借にいる者は宣教に出で行かずにいられぬのである。主は未熟のもの乍ら、選ぶと直ちに宣教の大任を課せられる。そうなると自然に主の御側に、倚り添うていねばならぬことを痛感する。量的にはないが、こうした過程は信徒の性的エスカレートする素晴しさを発見させて頂けるだろう。奇妙に、宣教だけが己を全うし、人と世を救う主の大業に参画させられていることになる。実に「宣教の恩をもて人を救うこととされた」のだった。宣教それは主のみ業だ。感佩大謝の他はない。

第三は「悪霊を追い出す権威を持たせられた」ことである。現代は悪霊がはびこっており、宗教家、教育者、政治家、実業家、人皆、悪霊の奴隷となり乍ら、それを自覚しない末の世である。悪霊を追い出すことは刻下の急務。病める現代人を主の権威を拝借、健かにせねばならぬ。理性も意志も感情も身体も主の正常に復帰させねばならぬ。アシュラムの五大原則は主の三大命令に充足せられる。往かう。主と借に。主のみ側に恒に居らせて頂いて、主の宣教に、血の汗を絞つつ祈りに徹して、出で立とう。悪霊は我等を包围仕切っているだけではない。内に浸入して、中からついばんで行く。

誰か主イエスの外これに耐え、克つを得よう。「悪霊さえみ名によると服従します」と喜んだ伝道の旅からのみ許に帰着る弟子達の叫びは、既に主によって我等のものである。悪霊は主でない。「イエスは主なり」なのだ。

### 日本クリスチャン・アシュラム連盟

## 臨時全国理事会(第六回)報告

前号に予告の通り去る九月十二日から連盟の理事会が東京目黒みやこ荘に開かれた。これには道南を除く全国の理事が出席、明年十月わが国に迎えることになった第三回国際アシュラムのために真剣な祈りと準備がなされた。

まず開会礼拝(二時)司会は海老沢理事長、聖書マタイ福音書五章一七―二〇により主イエスは律法を廢するためではなく成就するために来られた方であることを再認識したいと感話、一同の祈りが続いた。次に「靈交の時」(三時)は山根理事が司会、理事一同が更に真剣にアシュラムの生活を徹底的に守ることの必要を訴えられた。それに続いて、榎本牧師の急逝を追悼しつつ、今後の運動をわが国において如何に進めて行くべきかについて一同腹臆ない考えを語り合い、やがて主イエスに在って一致協力する日の来ることを祈ることとした。

事務会(七時)夕食後は昨年度会計報告と今年度現況報告とを承認、次で各地区の集会報告(昨年成果、今秋の予定)を伺い、各地区のため、特に道南、中国のために祈る。

第二日(十三日)朝七時より静聴の時を宇都宮理事の司会で守り、ピリピ書から受けた恵みを分かち合い、朝食後は横山

理事司会で事務会を続行、特に第三回国際アシュラムの準備協議をした。

要点は前号発表と大差ないが、参加希望が多いと見て二五〇名に増加し、参加費は一人金一万五千円(二泊六食含む)とし、更に全体の諸経費として金二百万円を予算を立て、各地区及び篤志家の協力を得て募金することに決定。

各国への招請状を海老沢理事長の名で発送すること、開催実行委員として左記八名を挙げた。

(委員長) 海老沢宜道、(委員) 中路嶋雄、大石嗣郎、池本金三郎、横山義孝、内村サムエル、林勝彦、鈴木留蔵。

尚実務を担当して頂くため実務委員を置くこととし、便宜上関東地区から推薦して貰うことにした。△その結果一週間後に開かれた関東地区委員会で左の諸氏が選任された。

(委員長) 横山義孝、(委員) 中村武、帆足誠、武井啓治、有馬歳弘、六笠妙子、小川忠夫(以上七名)▽

閉会礼拝(十一時半)中路副理事長の司会で守り一同、明年秋の国際アシュラムに主イエスの特別な御裕助を祈りつつ、今秋各地での集会に新しい熱情をもて当る決意を以て散会して行った。

### 第九回中部アシュラム

助言者に横山義孝先生を迎えて

アシュラムは詩篇の中に七一回も使用されている「セラ」です。開心、静聴、充滿、献心、奉仕の内容で、あなたを整えます。という内村委員長の案内に依じて参加者延五〇名。既報の通り去九月十四日(水)夕七時から名古屋一妻教会で開会礼拝に続き、開心の時(横山)晩禱。翌早朝、静聴の時と早天祈禱会(松原)午前と午後わたくし三回の御言の学びの時を持ち、横山御からエペソ書の靈解と恵みに満ちたチャレンジを受けた。最後の充滿献身の時に神の国の体験と十字架における一致した交わりの大切さが強調され、一同御霊の御啓導の下、献身の決意を新たにさせられた。

尚ファミリアアワーで横山師から去る連盟理事会の報告があり、明年は第三回国際アシュラムに合流することとし、地区ではミニ・アシュラムを盛にしようと申合せた。新年度委員は内村委員長以下全員再選された。費用一切は献金でまかなわれ、連盟に三万円を献げた。

### 代官山一日アシュラム

岡田実牧師を迎えて開く

去九月三日(金)渋谷代官山教会で第五回の日アシュラムが開かれた。この日のためには深い祈りの積重ねがなされ

### クリスチャン・アシュラムの守り方(九)

海老沢 宣 道

#### ▽聖餐式

いよいよアシュラムも最後の朝を迎えることになると、一同は靈的に主にある一つとなった意識に達して行くことと思ひます。その朝六時半から七時から沈黙のうちに集まって、最年長の牧師により聖餐式を守ることが、私たちのために十字架上に肉をさき血を流して下さった主イエスを覚え、主からの恵みを更なる確に受けるために尊い時となります。聖別されたパンとぶどう酒を配餐される時それが一同に手渡されるまで捧持して待っていて、司式者と同時に拝領する方法を取るが良いと思ひます。その後、暫らく黙想してから朝の食卓に向うのです。

#### ▽充滿の時

最後の朝にも聖書による靈解を受ける時間が設けられることでしょう。続いてこの充滿の時が持たれます。今まで何日間かの間、最初の開心の時から既に主の御霊は私たちの魂をゆたかに導いて下さってはいましたが、この時は聖霊の降臨を滿ち溢れるばかりに受けて、全体が贖罪的になり聖別され、全ての問題が解消するか解決されてきます。クリストの愛が各自に充滿して、主が愛されたように互に愛し合う者に改変されている自分を発見します。開心の時に告白したニード(必要)は答えられ、今や信仰による勝利を語る事ができます。実にすばらし

### アシュラムの五大原則

(一) クリストへの仰望し

れ、午前九時の祈祷会から初まる。開会  
 礼拝は中村武牧師の司会で開心が促され、  
 主語聖句詩篇一九篇一四十一  
 朝聖言に聴くことが勧められ、中食  
 時に各自の紹介あり、静聴の時には詩篇  
 一一〇―一二〇篇を黙想し、恵みの時に  
 は各自のニードを祈る。最後の充滿の時  
 には岡田実牧師(新宿西、東京アシュラ  
 ム委員)の司会奨励で悔改めの徹底が説  
 かれ、各自の決意と感想が発表された。  
 一同はこの日の恵みを心一ぱい受けて感  
 謝と讃美のうちに夕五時散会した。参加  
 者は同教会員が二十名程、他教会から十  
 余名、計三四名であった。

第十六回関東アシュラム

「主イエスとの出会い」に

再献身を誓った八〇名

関東アシュラムは第十六回聖会を去る  
 十月九日(日)午後から熱海駅前第一ビ  
 ル内地塩園に於て八〇名参加の下に開か  
 れた。横山委員長他一同の一年にわたる  
 折りと準備により、各教会の礼拝をすま  
 せてすぐ午後四時までに参加者が続々と  
 会場に集合、開会礼拝は野々村信雄兄の  
 司会、洲江淳一委員の説教で守る。委員  
 長のオリエンテーション、夕食の後、夜  
 七時から全体の開心の時は海老沢宜道理  
 専長が創世記により、神の前に赤裸々に  
 なることの勧めあり、数名が各自ニード  
 を吐露し折り、クリスチャン・アシュラ  
 ムの歌の唱和によって、一同の心が主に  
 向って開かれて行くのを覚えた。続いて

グループ別の開心が七室に分れて行われ  
 お互いのニードを語り、折りの互助に入  
 った。九時から朝まで「沈黙の時」の連  
 鎖祈祷には五〇名が参加した。

第二日(十日)朝の静聴は岡田実委員  
 の指導により、ピリピ書一―二章を黙読  
 して受けた御言を分かち合う。朝食後の恵  
 みの時(第一回)は萱沼孝文理事の司会  
 で植村俊雄委員が説教、北海道時代の伝  
 道体験からヨハネ第一書七節による証し  
 をされ深い感銘を受けた。再び七班に分  
 れて折りの細胞(一)を守る。

中食後、記念写真をとり午後二時から  
 恵みの時(第二回)を中村四郎兄の司会  
 で、海老沢理事長が説教、十戒をキリス  
 トの光に照して厳守する必要を語り、一  
 同は罪の自覚を明らかにされ、主イエス  
 の御救いを仰ぎ求めるに至った。四時か  
 ら折りの細胞(二)で、各自の信仰の斗  
 いと勝利のために祈る。夕食後、帆足誠  
 委員の司会で新しいさんびか三曲を唱和  
 三名(中沢敏子、小林悦治、柴崎美子)  
 の立証を伺い、主の恵みを感謝、続いて

山根可式理事の指導でいやしの時が持た  
 れた。病を医された人々十数名が前座  
 に進み、力強い悪霊追放の祈りをして頂  
 いた。九時から沈黙の時に入り連鎖祈祷  
 が前後同様に翌朝まで続けられた。

第三日(十一日)六時半からの静聴は  
 前日と同じ岡田委員の指導で、ピリピ書  
 三―四章を通して主の御声を聴く。次々  
 に恵みを証しする者が立上り時間の不足  
 を覚えた。朝食後ファミリーアワーは横  
 山委員長司会で、関東地区の過去一年間

の活動並びに会計報告、今後の予定と予  
 算、委員として棚田恵子姉の紹介、新し  
 く協力委員として佐伯博厚、寺井俊健兄  
 を加えることを承認、明年十月開催の第  
 三回国際アシュラムには全面的に協力す  
 ることを賛成、来る一年間の関東ファミ  
 リーの交わりのために祈った。十時から  
 充滿の時を横山委員長司会で守り各自  
 このアシュラムで受けた恵みを証し合い  
 ニードが主イエスによって答えられたこ  
 とを感謝、三名ずつの班に分れて互のた  
 めに折り、一同輪になって手をつなぎ、  
 数名の折り、讃美歌三五五(主を仰ぎ見  
 れば)を唱和、海老沢理事長の祝福をも  
 って感激溢れる集会を閉じた。

一同は申合せたように、受けた恵みを  
 各自の教会に持帰り、或は近隣教会と連  
 合して、ミニアシュラムを盛に守ること  
 を期しつつ家路についた。終りに受付、  
 宿泊、食事の係、グループの座長、とし  
 て労をとられた兄弟に心から感謝する。

国際アシュラムのために

協賛献金二百万円を募る

別記の通り有力な指導者と多数の  
 海外同志を迎えるため通訳その他諸  
 経費として金二百万円を必要としま  
 すので何卒よろしく全国の各地区及  
 び篤志家の御献金を総務局あてお送  
 り願います。

(振替)東京〇一四五五八番、日本  
 クリスチャン・アシュラム連盟あて。

- (三) 聖霊の啓示と充滿
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

い変化です。ここで主の御足の下に感謝  
 を捧げる時が来ます。

充滿の経験は初代教会のコイノニヤ  
 の経験であり、そこに神の国のひな型が  
 現実的に体験されているわけです。

▼献身奉仕の時

アシュラムは各個人の信仰を充実する  
 ことだけが目的ではありません。「聖霊  
 が下る時、あなたがたは力を受けて、地  
 の果てまで私の証人となるであろう」と  
 主イエスが言われたように、初代教徒た  
 ちは教会への奉仕と伝道に献身して出か  
 けました。アシュラムの兄弟たちも同様  
 に聖霊の満しを受けた以上、自己満足や  
 自己陶醉、或は少数の仲間だけの交わり  
 を楽しんで暮らすことはできません。ど  
 んなに困難があっても所属教会に帰り、牧  
 師を心から助け、伝道のわざに平信徒伝  
 道者として立上って頂きたいのです。

羊飼いは羊の群を守り、緑の野に伏さ  
 せ、憩いの水際に導くことができます。  
 しかし子羊を生み、羊の群をふやすのは  
 羊たち自身であります。その決心を主な  
 る神と同志兄弟の前で告白しましょう。

▼開会礼拝

参加者全員が「親交の輪」を作り、さ  
 んびを歌い、助言者は「私を強くして下  
 さる主によって、私はどんな事でもする  
 ことができる」など適当な聖言による激  
 励をして、共に折ります。またインドの  
 サトタル・アシュラムの標語「残りなく  
 主に捧げよう。この霊交は破れる時がない」と一同で称え、三本指の挨拶、さん  
 びか四〇三(四四〇も可)を斉唱して閉  
 会とします。

# The 3rd International Christian Ashram. October 4 (Wed) ~ 6 (Fri) 1978, Tozanso, Gotenba, Japan.

## 第三回国際

## クリスマスチャン・アシュラム

### 明年十月・日本の東山荘で開催

故ジョーンズ博士の提唱で一九七二年に第一回をエルサレム、一九七四年に第二回をインドで開いた世界アシュラムの第三回をぜひ日本での海外同志の要請に応じ、連盟理事会はこれを受諾し、準備に入った。七月には中路副理事長が渡米の際に、また十月には大石総務が渡米して、米国連盟の幹部と開催方法やプログラム等につき、打合せを重ねている。

これは千才一遇の恵みの時、スタンレー・ジョーンズ博士の霊も共に参加される充滿の時を待つ機会となるであろう。わが国同志の多数が今から祈りを深くして参加の予定を立てられるよう切望する。連盟理事、全国各地委員の諸兄弟の格別なる祈りと御協力を願ってやまない。

▲日時▼一九七八年十月四日(水)より六日(金)まで。  
▲会場▼静岡岡御殿場市(東山荘)  
▲助言者▼  
ジェームス・マシューズ監督  
米国メソジスト教会の監督で彼の夫人は故ジョーンズ博士の娘、博士に次ぐ有力な靈的指導者で米

国アシュラム連盟の理事長。ウイリアム・パーグ博士  
国際アシュラム開催委員長。  
ステン・ニールソン牧師  
スエーデン・アシュラム会長、曾てジョーンズと共に来日。  
デ・ピ・タイタス牧師  
印度アシュラムの有力な指導者  
パウル・ワグナー博士  
米国アシュラム連盟の総務。  
この他にカナダのゴードン・ハンター牧師も来会される筈で、わが連盟の理事も助言者として奉仕する予定である。

▼アシュラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱生活のことである。

## これから開かれる 各地区のアシュラム

東北アシュラム(委員長 村上東) 十月二四日(月)〜二六日(水)  
宮城県鳴子町中山平鉄道保佐指導所  
助言者 山根可式理事、有島歳弘師  
主題「イエスは主なり」  
会費 八五〇〇円 十月二十日〇切。

九州アシュラム(委員長 山本繁夫) 十一月七日(月)〜九日(水)  
静岡市草ヶ江、聖公会センター  
助言者 海老沢理事長、他委員。

関西アシュラム(委員長 中路嶋雄) 十一月二二日(火)〜二三日(水)  
大阪市大淀区本庄中通、淀川善隣館  
主題「全ての聖徒のために祈ろう」  
会費五千円、申込〆切、十一月十五日  
申込先 北区神山町扇町教会内委員会  
助言者 中路委員長他委員一同。

四国アララシム(委員長 宇都宮充) 十一月二三日(水)ター二五日(土)  
松山市二番丁、松山済美会館。  
標語「御言への静聴と聖霊の充滿」  
聖書 ピリピ書に学ぶ  
助言者 連盟理事長 海老沢宣道師

東京都内アシュラム  
城西地区(第二回) 委員長・洲江淳一  
十一月二三日(水) 東小金井教会  
助言者 山根 可式師、他委員

城南地区(第二回) 委員長・大石嗣郎  
十一月十六日(月) 目黒碑文谷教会  
助言者 海老沢理事長、他委員

城北地区(第八回) 委員長・海老沢宣道  
二月十一日(土) 中野パプテスト教会  
助言者、山根、岡田、大久保、諸師  
京浜アシュラム(第二回)  
実行委員長 今井寿師 十一月二日〜  
四日に湯河原厚生年金会館で。

## ★アシュラム祈禱会

以上各地の集会また第三回国際アシュラムのために、地区で各教会で少くも月一回同志の祈りを結果し、聖霊の導きを追い求めて頂きたい。

## ●個人消息

中路嶋雄副理事長、八月四日近江八幡で行われた榎本保郎牧師追悼式に連盟を代表して参列された。海老沢理事長は弔電を送った。

大石嗣郎総務、宇都宮充理事は十月五日羽田発在米日系人教会宣教百年大会に出席後、各地を巡回、下旬帰国予定。

## ★連盟賛助の祈り(七月〜九月)

- ▼五万円 関東アシュラム(五二年分)
  - ▼三万円 中部アシュラム( )
  - ▼二万円 東北アシュラム( )
  - ▼二万円 池ノ上教会( )
  - ▼一万円 林 勝義(関西)
  - ▼一万円 山本繁夫(九州)
  - ▼一万円 鈴木留蔵(関東)
  - ▼二千元 田中しま(東北、宮城県)
  - ▼(小計) 金一五二、〇〇〇円
  - ▼(累計) 金五五〇、五〇〇円
- 尚別に故スタンレー・ジョーンズ博士記念事業献金を寄せられています。次号にまとめて報告申し上げます。感謝。

東京都目黒区中央町1-21-10  
日本クリスチャン・アシュラム連盟  
碑文谷教会気付

参加者が何度でも読むべきもの  
「アシュラムとは何か」(50円)  
「アシュラムの祈り方」(20円)